

柔軟な働き方で8/6 解明交渉を行う!

駅乗務員区の再編成 来年3月から 順次スタート

統括センター・営業統括センター化実施

昨日は車掌 今日には駅員 明日は運転士が現実の問題に

この間、国労東日本は「柔軟な働き方の実現」で危惧される点について特集してきました。

今回の交渉では「社員の成長意欲に応え活躍フィールドを拡大する」=「何でもやってもらう」体制に移行することが明らかになりました。

＜組合＞ イメージ図では、各センターに委託駅も含まれているが、業務も共同で行うのか？

＜会社＞ JR社員と受託会社の社員が入り混じって業務を行うことは想定していない。エリアの中で連携してお客様サービスを提供していく事を考えている。

＜組合＞ 各センターの過半数代表者の選出範囲は？

＜会社＞ 統括センター・営業統括センターを1つの事業場として取り扱う。

「統括センター」「営業統括センター（乗務員区は入らない）」が具体的にどのような組み合わせで設置されるかは、現在各支社で検討中としています。

各地方・現場での問題点洗い出しのためにも、時間的に余裕のある支社提案が必要です。

利用者の安全とサービスは 本当に守られるのか!?